

新規採用 事務職員の声



日本赤十字社兵庫県支部管内において、今年度177名の新規採用職員が入社し、各施設へ配属されました。ここでは7名の事務職員を紹介させていただきます！



多可赤十字老人保健施設 管理課兼介護医療院管理課 澤本 有咲

高校時代、JRCに所属したことをきっかけにボランティアが趣味となりました。特に、大学生の頃に参加したタイランドでの海外ボランティアが印象的です。ガスも、水道もないその地域では若者たちが毎朝近くの水場まで水汲みに行っていたのです。更に驚いたのは、薄汚れた川にてお風呂を済ませていたのです。そんな状況を目の当たりにして、「誰もが快適な暮らしができるようにしたい」と強く思うようになりました。そこで、ボランティア仲間とともに井戸と子供たちのための遊具建設を行いました。完成した遊具で遊ぶ子供たちの笑顔が今でも忘れられません。今後は赤十字の一員として、兵庫県民の皆さんとともに快適な社会づくりを目指していきます。



神戸赤十字病院 医事課 内田 千晶

私は大阪豊中市の出身です。3月まで西宮の大学に通っており、大学では学生自治会やボランティアの部活に所属し、活動的に過ごしていました。好きなことは、食べることで運動することです。休日は料理をしたり、自宅から少し離れた公園で2時間ジョギングを楽しんだりしています。赤十字社を志願したのは、自治会での学内献血の運営やコロナ禍での学生生活を通して、「困っている人を救いたい、人と人との繋がりを支えたい」と思ったことがきっかけです。4月から日本赤十字社の一員として業務に携われることを本当に嬉しく思います。至らない点が多々あるかと思いますが、精進して参りますのでどうぞよろしくお願いいたします。



兵庫県赤十字血液センター 三宮センター街出張所 鈴木 大河

私は京都出身です。就職を機に初めて兵庫県に出てきたので分からないことだらけです。色々兵庫のことお教えいただけますと幸いです。大学では、中国語を専攻し、北京への半年間の留学経験があり、少し話せます。趣味は、スノーボードと読書ですが、新生活を機に新しい趣味を見つけたいと、色々悩んでいます。高校3年生の時、初めて献血をして、その経験から、赤十字社に魅力を感じ、志望しました。これからは赤十字社の一員としての自覚を持って頑張りたいと思います。分からない事だらけですが、1日でも早く、人のため、社会のために貢献できるように頑張ります。皆様よろしくお願いいたします。



姫路赤十字病院 人事課 野口 透

この度、姫路赤十字病院人事課に配属になりました、野口透です。大学では観光学や旅行企画について学び特に海外旅行企画に尽力しました。趣味は野球観戦、映画やドラマのエキストラ、国内旅行です。昨年はコロナの感染者数が少し収まったタイミングで念願だったヒッチハイクを行いました。色々ハプニングはありましたが無事達成でき充実した1年間となりました。野球観戦はオリックスバファローズのファンで、昨年25年振りに優勝したことや学生時代の同級生がプロになったりと、今年のプロ野球がすごく楽しみです。最後に、日本赤十字社の一員として沢山の人の役に立てるよう日々精進していきます。どうぞよろしくお願いいたします。



兵庫県災害医療センター 事業課 丸山 詩織

私は大阪の大学に通っており、主に英語と外国の文化について学んできました。趣味は、映画鑑賞と料理です。一人暮らしを始めたので、この機会にいろいろな料理のレパートリーを増やすことに挑戦していきたいです。就職活動で日本赤十字社を知り、理念に強く共感するとともに、苦しんでいる人がいれば、敵味方、人種、宗教、性別など関係なくひとりの人間として救いにいく、「人間を救うのは人間だ」という思いに感銘を受け、日本赤十字社を志望しました、これから災害医療センターという災害現場や救急医療で基幹となる職場に携わります。不安や緊張もありますが、どんな場面であっても、赤十字の理念を胸に取り組んでいきたいです。これからよろしくお願いたします。



兵庫県赤十字血液センター 三宮出張所 本間 桜子

初めまして！兵庫県神戸市出身の本間桜子です。名前から、よく春生まれと思われるのですが、実は「秋」生まれです（笑）趣味は体を動かすことで、最近トランポリンにはまっています。大学では社会福祉を専攻し、その人らしく生きるといことはどうということなのか、そのために必要な社会環境や制度とは何かについて多角的に学び、学外ではボランティア活動に取り組み、特に被災地の支援活動に精を出しました。これらの学びや経験から、社会の役に立つ、人に尽くすといった働き方を志すようになりました。赤十字組織の一員であることに使命感を持ち、そして、活動を支えて下さる方々との繋がりが大切に、これから日々精進して参ります。



日本赤十字社兵庫県支部 奉仕課 西嶋 莉世

4月から兵庫県支部奉仕課に配属となりました西嶋莉世です。念願の日本赤十字社に勤めることができ、身の引き締まる思いです。趣味は自然の中を散歩することで、帰省時には必ず祖母と散歩へ出かけます。また、身体を動かすことが好きで学生時代は陸上やバドミントン、フットサル等に取り組み、体力には自信があります。大学では福祉分野について学び、人を助けることの大切さに共感しました。今後は日本赤十字社の一員として「人を救いたい」という理念を、先輩方に学ばせていただきながら精進して参ります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

講習会のご案内

オンラインで学べる赤十字講習会のご案内

令和4年度も新たな講習普及方法の取り組みとして、オンラインでの講習会を継続してまいります。今年度から防災セミナーを新たに加えました！
日程・申込みはホームページから



講習内容	開催日	時間
災害への備え(大雨・土砂災害編)☆	【防災セミナー】	6月16日(木) 10:30~11:30
みんなで学ぼう応急手当	【救急法】きずの手当	6月16日(木) 14:00~15:00
こどもにAEDって使えるの?	【幼児安全法】乳幼児の一次救命処置	6月29日(水) 10:30~11:30
あなたは大切な人を救えますか?	【救急法】一次救命処置	6月29日(水) 14:00~15:00
知っておきたい急病・手当の基本☆	【救急法】急病の手当	7月 5日(火) 10:30~11:30
災害への備え(地震編)☆	【防災セミナー】	7月 5日(火) 14:00~15:00
あなたは大切な人を救えますか?	【救急法】一次救命処置	7月14日(木) 10:30~11:30
こどもにAEDって使えるの?	【幼児安全法】乳幼児の一次救命処置	7月14日(木) 14:00~15:00

☆印の講習は講義のみです。それ以外は実技を含みます。

対面式の講習の日程

赤十字基礎講習 (1日の講習)	7月18日(月・祝) 13:00~17:30 7月31日(日) 13:00~17:30
救急法基礎・救急員養成講習 (3日間の講習)	7月23日(土)・24日(日)・30日(土) 9:30~17:30 (初日は13:00~17:30)
水上安全法救助員I養成講習 (4日間の講習)	7月2日(土) 基礎9:00~14:30 養成15:00~17:00 7月10日(日)・16日(土)・17日(日) 9:00~17:00 (最終日は9:00~14:00) 場所:1日目 日本赤十字社兵庫県支部 2日目~4日目 日本赤十字社兵庫県支部災害救護支援センター(兵庫県三木市) (兵庫県広域防災センター内)
幼児安全法支援員養成講習 (2日間の講習)	8月20日(土)・21日(日) 9:30~17:00
健康生活支援講習支援員養成講習 (2日間の講習)	7月9日(土)・10日(日) 9:30~17:10 (初日は9:30~16:30)

※申込期日は開催日(初日)の1カ月前までです。

令和4年4月1日以降の対面式での救急法等講習会につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染対策を行いながら実施することといたします。講習についての最新情報につきましては、ホームページにて随時発信しています。ホームページにてご確認いただくかお電話にてお問い合わせください。講習に関するお問い合わせ Tel.078-241-1499 HP(講習のページ)https://www.hyogo.jrc.or.jp/lecture/



▲赤十字救急法講習会の様子

※隔月(奇数月)に発行しています。



〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目4番5号 TEL.078-241-9889 FAX.078-241-6990

赤十字 兵庫 検索 https://www.hyogo.jrc.or.jp/

ひょうごの 赤十字+

Japanese Red Cross Society Hyogo Chapter

2022
5

■ ホームページ
https://www.hyogo.jrc.or.jp/
■ インスタグラム
https://www.instagram.com/nisseki_hyogo/
■ Facebook
https://www.facebook.com/nisseki.hyogo/



ウクライナ人道危機

~たくさんのご協力ありがとうございます~

ウクライナから避難してきた人に保健医療支援を実施提供するハンガリー赤十字社ボランティア ▼



▼兵庫県赤十字奉仕団よりウクライナ人道危機救援金をお預かりしました



(C)Tamara Vukov



▲支援物資を配付する赤十字ボランティア ©ウクライナ赤十字社



▲ウクライナ人道危機救援金の募金活動をする兵庫県立国際高等学校生徒有志の皆さん

- 姫路赤十字看護専門学校卒業生の声
- 5月は赤十字運動月間 ~赤十字活動へのご支援をお願いします~
- ウクライナ人道危機救援金へのご協力ありがとうございます
- 令和4年度新規採用事務職員の声
- 講習のご案内

姫路赤十字看護専門学校では、令和3年度卒業生全員が看護師国家試験に合格し、看護の道への第一歩を踏み出しました。コロナ禍での新たな一歩となりますが、看護師としての活躍を期待しています！

卒業式を終えて

姫路赤十字看護専門学校卒業生 三木 鈴奈

春の到来を感じる令和4年3月4日、私達は姫路赤十字看護専門学校を卒業することができました。歴史ある救護服を身にまとうと緊張と嬉しさがこみ上げ、晴れて卒業できる自分たちが誇らしく感じられました。

厳粛な式が挙行される中で、3年間の日々が走馬灯のように蘇りました。初めての実習で、ごちない私達の援助を笑顔で受け入れてくださる患者さんと接して、憧れの看護師になろうと励まされたこと。新型コロナウイルス感染症が流行する中でも、何ができるか試行錯誤し、オンライン授業や奉仕団活動に臨んだ日々。領域別実習では、患者さんの生活背景や価値観に関心をもち、その人らしく生活できる看護を提供できるように励んだこと。様々な思い出を振り返りながら自身の成長を感じられました。そして、いつも私のそばには、同じ目標に向かって切磋琢磨した仲間や、ご指導下さった病院職員の皆様をはじめ、諸先生方、温かく見守ってくれた家族の存在がありました。

感謝の気持ちを忘れず、これからも探究心をもって看護の道を進んでいきたいと思ひます。



看護師国家試験に合格して

姫路赤十字看護専門学校卒業生 出井 あつこ

この度、無事国家試験に合格することができました。受験するにあたり本格的に勉強を始めてからもなかなか点数は伸びず、臨地実習と並行して勉強するのは正直大変でした。途中で「もうやめたい」と感じたこともありましたが、周りを見れば同じ目標に向かって頑張るクラスメイトの存在、ご指導頂いた先生方、応援してくれる家族がいたからこそ、ここまで頑張ることができたと思ひます。

また、私達が2年生になった頃からCOVID-19の影響で実習や講義など、例年通りいかないこともたくさんありましたが、私達が臨地で実習したり学習したりしやすいような環境を先生方が作ってくださり、多くの学びを得ることができました。国家試験の問題は、実習で関わらせて頂いた患者さんのことを思い出しながら解くことができました。

こうして振り返ってみると、私一人の力ではなく、たくさんの方の支えがあったからこそ、国家試験に合格できたと強く思ひます。これからは国家資格を持った1人の看護師としての責任感・自覚を持ち、患者さん主体の看護を大切に頑張りたいと思ひます。



左が出井さん

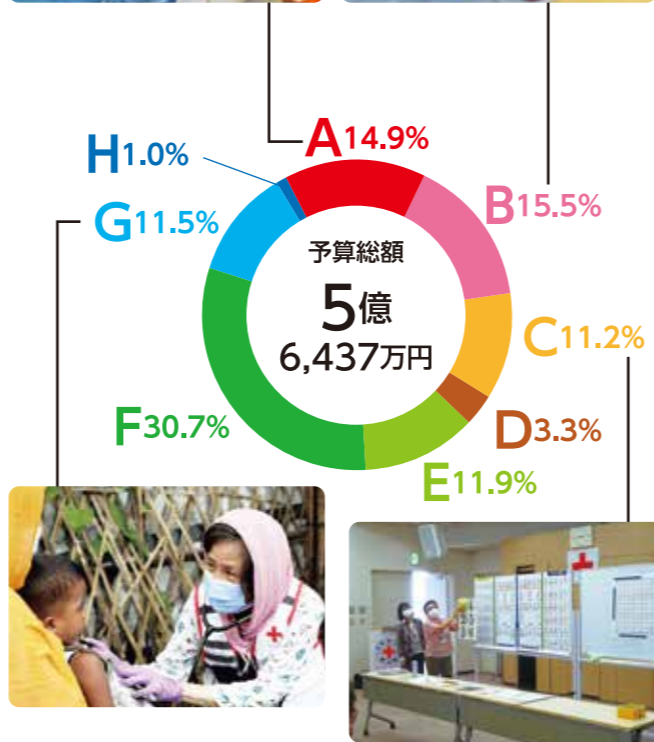


5月は赤十字運動月間です ～赤十字活動へのご支援をお願いします～

日本赤十字社兵庫県支部では、苦しんでいる人を救いたいという「人道」を理念とし、災害時の医療救護や被災者支援をはじめ、日々の備えとして、救援物資の配備・備蓄や地域への救急箱・AEDの設置、講習会の開催など、地域の安全安心や社会のニーズに沿った活動に努めております。また、新型コロナウイルス感染症対応では、新たな株の感染拡大が続く中、県内の赤十字病院では継続して感染者の受け入れ、治療を行っております。近年、激甚化・頻発化する自然災害に対し、災害救護体制を一層強化していく必要がある中、感染症との中長期的な対応が求められています。

こうした赤十字事業の意義や趣旨をさらに広く皆さまに知っていただき、赤十字活動へのご理解・ご支援を賜りたく、毎年5月を「赤十字運動月間」と定め、本月間を中心に年間を通して、広く県民の皆さまに赤十字活動へのご理解と活動資金へのご支援をお願いします。

今後も、新型コロナウイルス感染症への対応を含めた赤十字の諸活動をさらに展開していくため、赤十字の活動の意義や公益性等についてご理解いただき、皆さまの温かいご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。



令和4年度 活動資金の使い道

内訳	予算額
A 国内外の災害被災者の救援、大規模災害に備えた救護体制の充実強化のために	8,388万円
B 医療や安全な暮らしのために	8,775万円
C 地域活動やボランティア普及のために	6,337万円
D 赤十字活動の普及・啓発のために	1,883万円
E 赤十字活動への理解と資金協力をお願いするために	6,697万円
F 組織運営のために	1億7,347万円
G 国際活動などのために	6,510万円
H 予備費として	500万円

いのちと健康を守る赤十字活動は、皆さまからお寄せいただく活動資金で成り立っています。
活動資金にご協力をお願いします

郵便局・ゆうちょ銀行からご協力いただけます
口座記号番号:01110-0-1136
口座加入者名:日本赤十字社兵庫県支部
※窓口で取扱いの場合、振込手数料は無料です。

ウクライナ人道危機救援金へのご協力ありがとうございます



兵庫県支部の小野事務局長へ募金を手渡した清貞さんと加久石さんは、「ウクライナで困っている人たちや、隣国に避難した人たちが少しでも楽になるよう、食べ物や医療などの支援を届けてほしい」と話しました。

募金活動を計画・実施して下さった生徒有志の皆様、そして募金にご協力いただいた皆さんの皆様、本当にありがとうございました。

3月18日、兵庫県立国際高等学校JRC(青年赤十字)部の清貞さんと加久石さんが、兵庫県支部へウクライナ人道危機救援金を届けてくださいました。

ウクライナ情勢のニュースを見たJRC(青年赤十字)部員が募金活動を提案し、JRC部員・生徒会・有志の生徒が、3月14日から17日の4日間、JR芦屋駅や阪神電鉄打出駅などで募金活動を実施し、57万5,120円が集まりました。



日本赤十字社は、国際赤十字・赤新月社連盟(連盟)、赤十字国際委員会(ICRC)、各国赤十字社が実施するウクライナでの人道危機対応及びウクライナからの避難民を受け入れる周辺国とその他の国々における救援活動を支援するため、2022年3月2日から「ウクライナ人道危機救援金」の受付を開始いたしました。救援金の受付開始からこれまで、多くの皆さまからあたたかなご支援とご協力をお寄せいただき、心より感謝申し上げます。



現在、ウクライナや、周辺国のポーランド、ハンガリー等にある赤十字社では、避難している人々への医療支援や、一時避難所における物資支援・住居に関する支援などの活動を実施しています。日本赤十字社も国際赤十字への資金援助に加えて現地への人員派遣の貢献を行っており、今後も支援の拡大を予定しています。

◀24時間体制で避難した人に温かい食事を提供するウクライナ赤十字ボランティア ©IFRC

遺言・相続財産・お香典へのご協力について

「自分が亡くなった後、これまで築いた財産の一部を赤十字に寄付したい」といったご相談や、大切な方を亡くされたご遺族から、「故人の遺産を社会のために役立ててほしい」というお申し出が増えています。日本赤十字社では、このような尊いご意思に答えるために、遺贈(遺言による寄付)、相続財産等のご寄付を承っております。

お問い合わせは ☎0120-078-456(振興課)まで